

学校 教育 目標	「笑顔がすてき いいこといっぱい 下和泉」～ ふれあい 認め合い 学び合い ～ ○自ら課題を見出し、共に学び合うことで基礎・基本を身につけ、主体的に学ぶ態度を育てます。【知】 ○進んで自分らしさを発揮し、自分のよさを伸ばせるとともに、他の人との違いも認め合うことができる子どもを育てます。【徳】 ○健康や安全の大切さに気づき、心身ともに健やかな子どもを育てます。【体】 ○共に学び合い、地域社会の一員として、より豊かな人間関係を築ける子どもを育てます。【公】 ○様々な社会の変化に柔軟に対応できる子どもを育てます。【開】				
	創立 53 周年 児童生徒数: 398 人	学校長 品川 仁美	副校長 菅田 真治	2 学期制	一般学級: 13 個別支援学級: 8
学校 概要	主な関係校: 泉が丘中学校 中和田南小学校 伊勢山小学校				

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	泉が丘中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
自己決定力から自己有用感へ ～ あこがれ 夢中 自信 ～ 自己有用感からコミュニケーション能力へ ～ 自認 他認 尊重 ～	泉が丘中学校 中和田南小学校 下和泉小学校	○進んで人や地域と関わり、自己有用感を高め、自他のよさに気付く子ども ○主体的に学び、自ら学びを広げ、深めることができる子ども ○合同授業研究会を実施し、取組目標に迫る授業場面での具体的な姿について教科ごとに検討、共通理解を図る。 ○学校運営協議会、地区別懇談会での情報交換。 ○児童生徒交流日において、児童が中学校を訪問し、授業参観・生徒会紹介・部活動見学を実施。 ○ブロック専任会で、特別支援教育について各校の実践報告・情報交換、中学校ブ

中期 取組 目標	○「子どもにゆだねる」という種をまき、自分で(自分たちで)決めて、夢中になって主体的に取り組む経験を積み重ねます。
	○自分で(自分たちで)決めたことを最後までやり通し、本当の自信、プライド、自己有用感の根を伸ばします。
	○芽生えた自己有用感をもとに、他者との関わりをもち、自他ともに認め、尊重する姿勢と関わり続ける意欲の幹を育てます。

重点取組分野		具体的取組
知	本の好きな 子どもの育成	①子ども一人ひとりが自分の読みたい本、自分の学習に必要な本を自ら選べるようにする選書の力を高めるとともに、読書を通して語彙を増やし、一冊を読み通す力を身につける。 ②図書館司書との連携を深め、子どもが行きたくなる学校図書館の環境整備に取り組む。
担当	経営推進	
徳	よりよい集団意識	①子ども一人ひとりが自分のよさや強みを発揮し、それを互いに認め合い、誰もがにこにこ笑顔で過ごすことができる学級・集団を目指す。 ②学級活動(話し合い・係活動や当番活動)を通して、主体的に学習・活動できる学級・集団を目指す。
担当	児童指導	
体	豊かな体験的学 習	①子どもの思いや発想を生かし、子どもが夢中になれるような体験的な学習を各教科で取り組みながら、自ら学ぼうとする子どもを育てる。 ②集団で学ぶよさを大切にしつつ、個々の学習力を高めるように、意図的・計画的に授業を計画するため、教職員が連携する。
担当	児童指導	
公 開	自分たちの セルフマネジメン ト	①教師が、子ども一人一人に応じた日々の声掛けや支援を積み重ね、実践したことを共有する。 ②自分のめあてを設定しながら、必要な計画を考え活動することを通して、他者とのつながりを大切にしながらよりよい集団意識を自分たちで作ろうとする力を育む。
担当	経営推進	
	いじめへの対応	①各種アンケートを実施を通して情報を複数職員で共有し、いじめの早期発見につなげ、チームでの早期に対応する。 ②YPやSSTなどを定期的に取り組む、児童のソーシャルスキルの向上を図る。
担当	児童指導	
	人材育成・ 組織運営(働き方)	①学校づくり部会などの組織改革を行い、全職員が学校運営の当事者としての意識をもって取り組めるようにするとともに、情報共有を徹底する。 ②引き続き計画年休を導入し、休みを取りやすい雰囲気づくり、互いに助け合える風土を醸成する。
担当	経営推進	
担当		
担当		
担当		
担当		